

令和5年度 学校評価 学校集計表(まとめ)

教職員

保護者

職員数	77人	保護者数	126人
回答数	68人	回答数	109人
回収率	88.3%	回収率	86.5%

① 児童生徒を真ん中に置き、人格・主体性を尊重していると思いますか。

評価	%
4	45.6
3	54.4
2	0
1	0
平均	3.46

評価	%
4	64.5
3	32.7
2	1.9
1	0.9
平均	3.61

② 個別の指導計画を見直し、一人一人に応じた支援が行われていると思いますか。

評価	%
4	34.3
3	64.2
2	1.5
1	0
平均	3.33

評価	%
4	72.4
3	26.7
2	1
1	0
平均	3.72

③ 社会参加と自立に向けたキャリア教育が推進されていると思いますか。

評価	%
4	23.9
3	70.1
2	6
1	0
平均	3.18

評価	%
4	51.5
3	47.6
2	1
1	0
平均	3.51

④ 学級担任を中心としたいじめのない学級経営が協力してなされていると思いますか。

評価	%
4	48.5
3	50
2	1.5
1	0
平均	3.47

評価	%
4	67
3	32.1
2	0.9
1	0
平均	3.66

⑤ 児童生徒や保護者、地域、関係機関から信頼されていると思いますか。

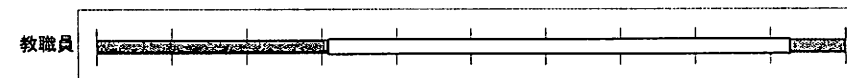
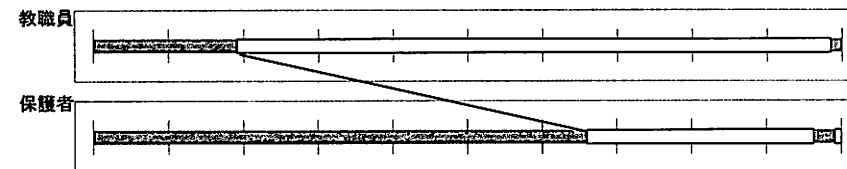
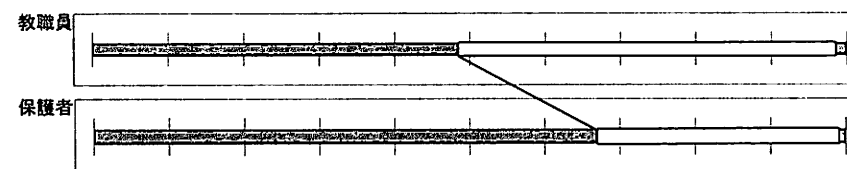
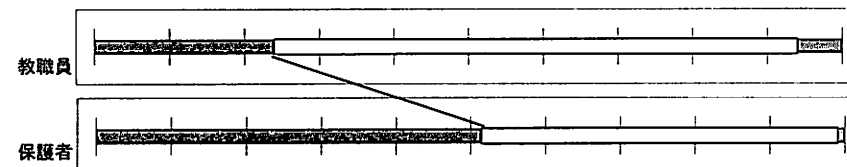
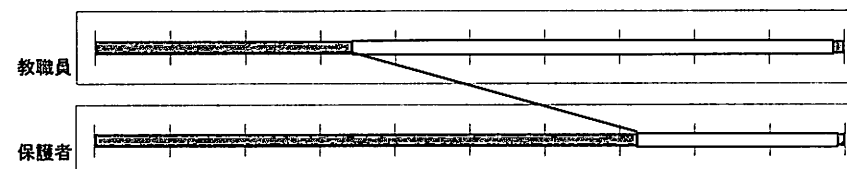
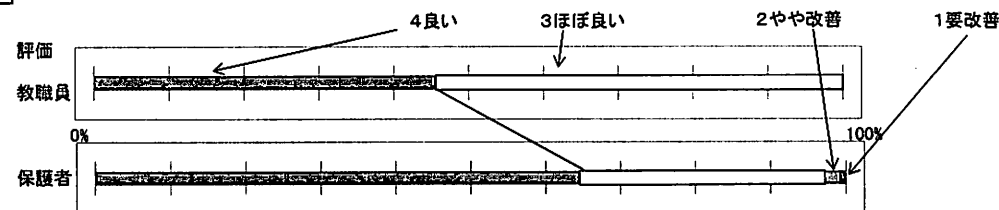
評価	%
4	19.1
3	79.4
2	1.5
1	0
平均	3.18

評価	%
4	66.1
3	30.3
2	2.8
1	0.9
平均	3.62

⑥ センターの機能が発揮されていると思いますか。(教職員のみ)

評価	%
4	30.9
3	61.8
2	7.4
1	0
平均	3.24

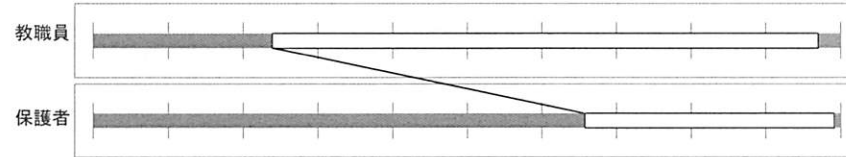
評価基準 4. 良い 3. ほぼ良い 2. やや改善 1. 要改善



a 個々の発達段階や年齢に応じた支援に取り組んできましたか。(保:～に取り組んできましたが、いかがでしたか。)

教職員	
評価	%
4	23.9
3	73.1
2	3
1	0
平均	3.21

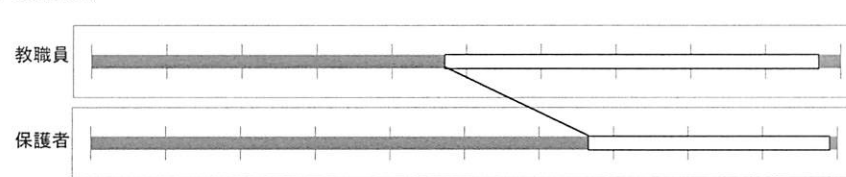
保護者	
評価	%
4	65.7
3	33.3
2	0.9
1	0
平均	3.65



b 児童生徒のサインや意思表示を大切に支援してきましたか。(保:～に支援してきましたが、いかがでしたか。)

教職員	
評価	%
4	47.1
3	50
2	2.9
1	0
平均	3.44

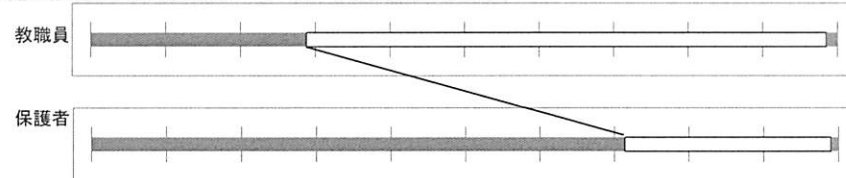
保護者	
評価	%
4	66.7
3	32.4
2	1
1	0
平均	3.66



c 「えがお(個別の指導計画)」の期待する姿、手立て、成果や課題は明確で分かりやすい内容、表現を目指しましたか。(舎:連絡ノート 保:～内容、表現でしたか。)

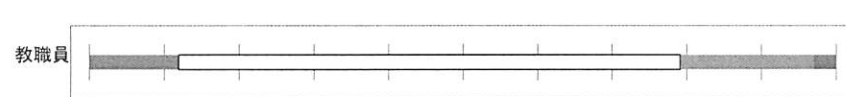
教職員	
評価	%
4	28.8
3	69.7
2	1.5
1	0
平均	3.27

保護者	
評価	%
4	71.4
3	27.6
2	1
1	0
平均	3.70



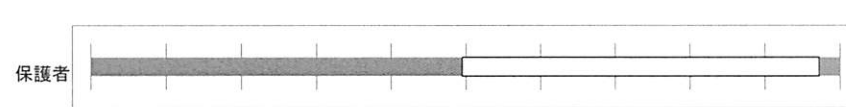
e 一部の教師に負担をかけることなく、チームなどの体制を整え、組織として課題に取り組むことができるようになりましたか。

教職員	
評価	%
4	11.9
3	67.2
2	17.9
1	3
平均	2.88



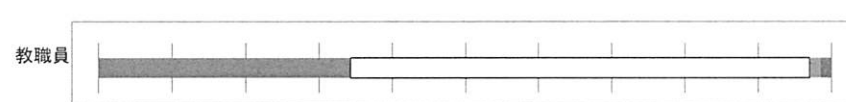
d 医療や福祉等の関係機関等と連携を十分に図ってきましたが、いかがでしたか。(保護者のみ)

保護者	
評価	%
4	49.5
3	47.7
2	2.8
1	0
平均	3.47



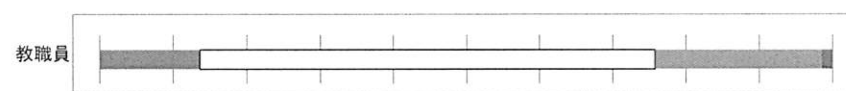
f 学部(寄宿舎)経営、学校経営に積極的に参加しましたか。(教職員のみ)

教職員	
評価	%
4	34.3
3	62.7
2	1.5
1	1.5
平均	3.30



d 授業の計画、教材研究、準備などの時間を確保できましたか。(教職員のみ)

教職員	
評価	%
4	13.6
3	62.1
2	22.7
1	1.5
平均	2.88



令和5年度学校評価（保護者評価及び教職員評価）への改善策について

1 はじめに

お忙しい中、学校評価アンケートの御記入ありがとうございました。

アンケートを集計したところ、今年度は、昨年度とほぼ同様の評価をいただきました。項目によっては、評価がやや低い部分があるため、今後は、皆様からいただいたアンケートの結果と職員による学校評価の結果も踏まえて、次のように取り組んでまいります。

2 学校経営の重点に関わって

① 児童生徒を真ん中に置いた人格・主体性の尊重について

→ 今後とも、全教職員が一丸となって取り組む「児童生徒を真ん中に置いた教育」を推進します。また、児童生徒が一人で活動できるように教材を工夫するなどの「できる状況づくり」の考えを大切にしながら、本人、保護者の思いに寄り添った支援を続けていきます。

② 個別の指導計画の見直し・改善による一人一人に応じた支援について

→ 個々の児童生徒理解に努め、計画に基づいた授業づくりと分析的な評価・改善により、より一人一人に応じた支援に取り組めます。

③ 社会参加と自立に向けたキャリア教育の推進について

→ 自立と社会参加に向け、キャリア教育全体計画に基づき、発達段階を踏まえながら社会参加を意識した学習を進めていきます。また、小・中・高で一貫した支援が行えるようにしていきます。

④ いじめのない安心できる学級経営について

→ 日常の様子から、児童生徒の微細な変化を見逃さずいじめの早期発見に努めるとともに、児童生徒の不安や悩みに対し、日常的に教員間で情報共有し組織的に対応します。

⑤ 児童生徒や保護者、地域、関係機関からの信頼と連携について

→ 児童生徒や保護者の皆様の思いを傾聴し、より良い支援の在り方等について一緒に考えたり、地域、関係機関の皆様と日頃からの情報共有、連携に努めたりします。また、老朽化部分等の教育環境を把握し対策に努めます。

3 授業や評価等に関わって

a 個々の発達段階や年齢に応じた支援について

→ 個々の児童生徒の興味関心や発達段階踏まえ、子ども主体の授業づくり、個別最適な学びを意識した指導・支援を行います。また、性教育も含め、生活年齢に応じた関わり、支援を大切にしていきます。

b 児童生徒のサインや意思表示を大切にされた支援について

→ 今後も言葉やサイン、表情の微細な変化といった児童生徒の意思表示を見逃すことなく、気持ちに寄り添った適切な支援を行います。

c 「えがお（個別の指導計画）」の内容、表現について

→ 観点別評価により、どのような資質・能力が育成されたのか、分析的に評価します。また、記載項目の検討や文量も含め、保護者の方により評価内容が伝わるような文章の表現に努めます。

d 医療や福祉等の関係機関等との連携について

→ より適切な支援を行えるように、医療、福祉、労働等の各関係機関と適宜ケース会を実施するなど、日頃から密に情報共有したり、連携したりします。

4 終わりに

保護者の皆様、学校評価に御協力いただき、誠にありがとうございました。自由記述においては、励ましの言葉とともに、厳しい御意見もいただきました。いただいた御意見を真摯に受け止め、教職員全員で共有しました。保護者の皆様からより一層御信頼いただける学校を目指し、全職員一丸となって改善に努めてまいります。

今後は、さらに保護者の皆様との連携を大切に、学校運営について改善を進め、児童生徒一人一人の自立と社会参加に向けた取り組みを進めてまいります。今後とも、御理解、御協力よろしくお願い申し上げます。

学校関係者の評価について

山形県立米沢養護学校

学校関係者評価の皆様からの御意見より

日頃、大変お世話になっております。

保護者、教員の方による学校評価に関する資料を拝見させていただきました。ありがとうございます。日頃より試行錯誤しながらお子さんの日々の成長に合わせて保護者、教員の方が教育の実践に真摯に取り組んでおられることに尊敬の念を抱いております。

重点項目の「児童生徒を真ん中に置いた教育」の取り組みの成果が表れていると推察されます。ひとつは個を重んじ、主体的に物事を考えている姿勢が見受けられます。もうひとつは個別の指導計画が保護者の方より高く評価されていること、教員の方もほぼ良いとの自己評価されている点になります。100点満点のツールはなかなか存在しないなかで、個を見てとれるような計画に少しずつ近づいているのではないのでしょうか。わかる、わかってもらえることは大きな支えになります。こどもの成長、個、集団、社会とのかかわり、環境等と視点は多岐に渡りますが、実際のプロセスで問題点や解決策が見出されアップデートしていくといった長期的な観点を重視し、取り組んでいただければと思います。

高等部就労コースもスタートし、ますます多機能となり取り巻く関係機関との連携が求められ、特別支援教育のセンター的役割としても業務が年々増加していると思われます。昨今の合理化を追求した組織編成もあり人員が足りなく、教員の方も課題を持ちつつも多岐に渡る業務に追われてジレンマを抱えていらっしゃると思われます。一朝一夕では解決、理想には届きませんが、現在の方針を推進し、得ている信頼関係を保ちつつ前進していただけたらと願っています。

保護者等評価結果は、概ね平均3.5以上となっており、大変評価されているものと拝見いたしました。

一方、教職員の評価中、特に「授業や評価等について」は、コロナは5類化されたものの、教育行事等に対する負担感の増加と捉え厳しく評価されているものと拝見いたしました。

チーム体制の整備や職員確保等、様々な課題について着実に改善できるよう御努力いただければ幸いです。

児童生徒が順調に成長できるように、生活面を中心としながら、今後とも関係機関として十分に連携を図っていきたいと考えております。

いつもありがとうございます。

毎日、先生方の工夫をこらした授業をして頂き、私達も勉強させていただいております。行事にも積極的に参加して頂き、ありがとうございます。

今後とも、よろしくお願いいたします。

学校評価にかかわる保護者、教育のコメント。ありのままの状況が感じられて、先生方は良かったのではないかと思います。

保護者の要望等に応じていけるように、先生方にはがんばっていただきたい。

よく話題になっていたのは、先生方が子供達に関わる時の温度差のこと。

毎日の学校運営の中で特に特別支援学校の先生方の負担は大きいものであると思う。

先生方の身体的、精神的な安定が学校運営には大きく影響していくと思う。

どうか、負担の改善に力を入れて下さる事を切望する。

米養は障がいのタイプや程度の幅が大きく、教職員の方々も支援して下さるのに、大変な御苦労があると思っております。

学校経営の「①児童生徒を真ん中に置き、人格・主体性を尊重していると思いますか。」について、保護者評価が2や1の方がいるというのは残念なことです。こう思っている方が「②個別の指導計画を見直し、一人一人に応じた支援が行われていると思いますか。」「④学級担任を中心にいじめのない安心できる学級経営が協力してなされていると思いますか。」

「⑤児童生徒や保護者、地域、関係機関から信頼されていると思いますか。」でも2や1の評価なのだろうか？と考えてしまいます。

教職員でも同じところの評価が2の方がいるというのは対象のお子さんが同じなのだろうか？と疑問に思いました。支援できる状態ではない、ということなのでしょう。・・・。

個性が強くなかなか人に、環境に慣れるのに時間がかかる子どもであるからこそ、教職員と保護者の信頼関係は大事なものだと思っています。

ぜひ、話し合える時間と環境があってほしいと望みます。